

③ 牛、ぶた、にわとり、かいかをかうしごと

ア. 牛をかうしごと

須釜地区には、牛をかってる農家が特に多く150戸以上もあり、540頭もいます。玉川村全体では620頭ぐらいいます。



肉用牛のしいく

和牛をかい、よくそだてた子牛を1か月おきに開かれる石川の「せり市」にだします。病気にならないように予防注しゃをしたり、ふんにょうしよりなど大へんです。

乳牛をかってる農家もあります。戸数はへっていますが、生産量は少しふえています。

肉用牛 にゅう牛の生産量

		頭数 (頭)	生産量(t)	生産額(百円)
和牛	昭和50年	450	280	61
		55	470	122
		59	730	138
乳牛		50	83	26
		55	100	36
		59	100	39

(玉川村役場産業課調べ)

しばった牛乳は、ミルククーラーに入れ、石川からくる集乳車につんで、石川町のねこなき地区にあるクーラーステーションに集かされます。

集荷された牛乳は、県内の牛乳工場や東京方面におくられます。

イ. ぶたをかうしごと

特に小高、中地区には、ぶたを多くかっている農家があります。子ぶたを育てて売りに出します。60頭もかっている農家もあります。



ぶたのしいく

子ぶたが30kgぐらいになると、農きょうに集め、いばらぎ県や西白河郡大信村などの業者に売られます。ちくせつ矢吹町などの業者に売る農家もあります。ぶたを